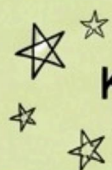


八郷地区統合小学校 新築に向けた ワークショップ報告書

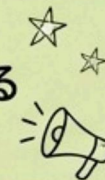
地域の記憶を紡ぎ、未来の学校を描く



開催の目的と概要：対話の旅路



Key Message: 参加者の多様な意見を否定せず、全ての想いをテーブルに乗せる
「ブレインストーミング方式」を採用しました。





第1回ワークショップ

「こんな学校にしたいな」

各グループによる「未来の学校へのアイデア」

活動・設備・学び

【学校外の時間・設備】

-  ・放課後活動できる時間・クラブ活動
-  ・通学時間（バス通学）のロスを減らす
-  ・多目的スペース、安心出来るスペース
-  ・スポーツ環境の整備（体育館2面、200-400mグラウンド）
-  ・紙で、文字で読みたいと思える魅力的な学校図書館
-  ・学びの図書館、学びのスタイルが選べる
-  ・八郷に現在プールが無い、プールがある（出来れば温水）

【地域力・指導・食・環境】

-  ・地域の人の子育てに関われる、応援したくなる学校
-  ・8校それぞれの地域学習を全体で共有
-  ・PTA活動が出来るPTA室
-  ・専門分野・教員の充実、特別活動の充実
-  ・遊びの延長に学びがある
-  ・小中のカリキュラム見直し
-  ・八郷ならではの食や環境の実地の学び（校内菜園）
-  ・異年齢との交流、お互いを応援し合える関係

誰もが「楽しい」と思える学校

ハード

- ・木材、配色（居心地、集中）
- ・全学年が集まる空間
- ・大きな図書館
- ・平屋（一階建て）

保護者・地域

- ・保護者の安心・参加
- ・地域とつながりがある、地域で学ぶ

大前提！ 楽しい学校

子ども

- ・仲良し、勉強が解る、活躍出来る
- ・多様な学び、学年を越えた交流
- ・運動と勉強の両立
- ・中学校との交流

教師

- ・トラブルが少ない
- ・チャレンジ出来る
- ・先生が沢山いる学校

八郷学と自然のエコスクール

【ソフト：居場所と八郷学】

- 学校に居場所があると感じられる
- 学年問わず仲良し、いつでも学べる
- 自然が感じられる緑の多い学校
- 放課後のクラブ活動
- 「八郷学」の進んだアイデンティティのある学校
- 地域密着、行事を一緒に

【ハード：独創性と共用】

- 掃除のしやすい学校
- 地域の人でも利用出来る場所
- 自然エネルギーを生かしたエコな学校
- 独創性のある校舎、木造とか（八角形）
- 平安時代っぽい開放的な建物（平屋一階建て）
- 校章を残す、教室で地域が分かる

自信と多様性、ある意味「ゆる〜い」学校

自信 多様性 絆 ゆる〜い

・子どもが自信をもって
頑張れる学校

・自由に身体を動かせる
広い学校

・地域の人たちとの絆

・明るく楽しく
メリハリがある空間

・学年関係無く
生徒同士が交流出来る

・本が沢山ある学校
(タブレットだけでなく)

・「多様性の尊重」
互いの良さを認め合える

・どんな思いも受け止めて
くれる、安心感のある学校

・誰でも「行ってみるか」と思える、
ある意味ゆる〜い学校

・特技、特性を
生かせる教育の場

・「規律」と「自由」を
明るく楽しく学べる

・辛い気持ちに対する理解

研究機関と連携する、地域の共用拠点

【環境】

- 夏は涼しく、冬は暖かい
- 温もりのある学校、木を使って
- シンプルなつくり

【内外地域との連携】

- 先生が自分の好きな事を熱く語り教えてくれる
- リスクマネジメントした上で挑戦させてくれる
- つくばの研究機関と連携した取り組み
- 地域の産業に知らぬ間に触れられる

【地域共用】

- 地域の人と交流出来るスペース
- デジタルの充実
- 地域の人達が使ええる施設（プール、防災、祭り、野菜作り）
- 市立図書館が併設されている
- ミニ天文台がある
- 半屋内で火遊びが出来る環境
- 万葉集に出てきた「つくばね」という言葉

多くの意見から見えてきた「私たちの願い」



子どもが主役

自信と挑戦を育む。
「やりたい!」を
実現できる環境。



安心できる 人間関係

多様性を認め合
い、学年を越えて
つながる。



地域とともに ある

地域力を生かし、
誰もが関わりやす
い開かれた学校。



八郷らしさ

「八郷学」、自然
学習、食育を通じた
アイデンティティ。



居心地の良い 環境

木を使った温もり、
「つくばね」の風土
を感じる平屋。